

日本の恐慌

都市



① 大阪の駅前に立つ人(1931年)

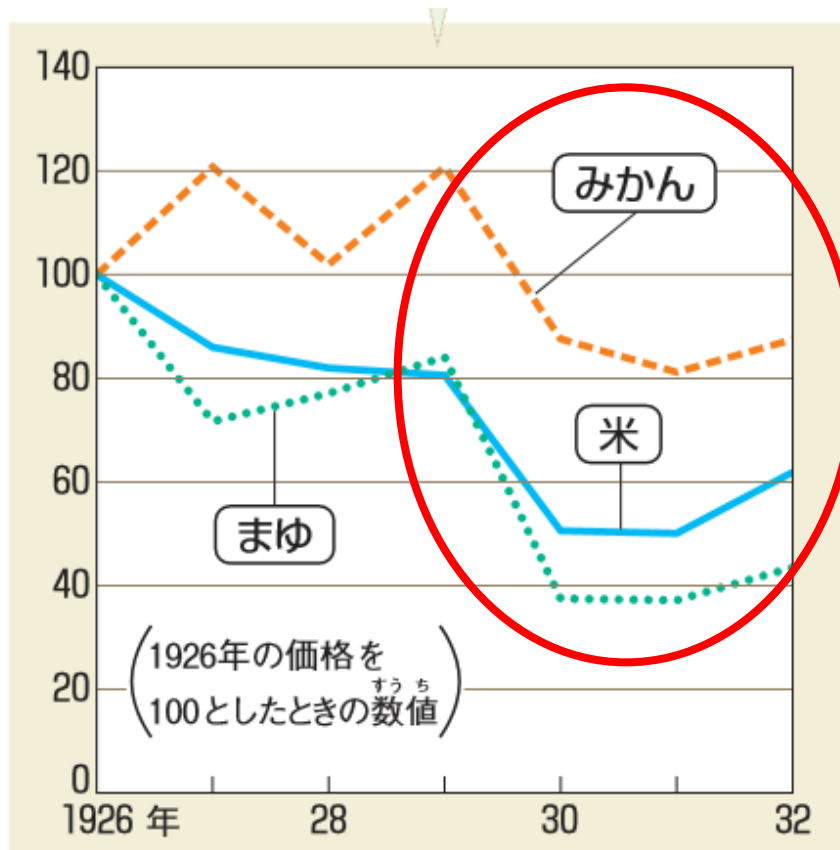
一九三一年
の日本

農村



② わずかに残るもみを取る小学生(1931年 青森県) 1932年の調査では、
欠食児童が全国で20万人にもなりました。

農作物の価格の変化



1929年の世界恐慌以降、不景気になって物が売れなくなり、物価が下がっていることがわかる

③ 農作物の価格の変化(『長期経済統計』)

統一を進める中国と日本の対応



⑥ 孫文
(1866～1925)



⑤ 蔣介石(1887～1975)



④ 北京に^{かか}掲げられた国民政府の旗
1928年に国民政府軍が北京に入り、町に掲げられました。

孫文の死後、分裂していた中国をまとめたのが孫文の後を継いで中国国民党（国民政府）のリーダーとなった**蔣介石**でした



蔣介石は日本が進出しようとしていた満州の方角にある北京に軍を進め、日本はその動きに反発し、軍を進めました

政党政治の危機

政党政治派



⑦ 狙撃された浜口雄幸首相(1930年)
東京駅で撃たれた浜口首相は、翌年亡くなりました。

軍部中心派



⑥ 爆破された満州の軍閥の指導者の列車(1928年)

日本の軍隊は中国で爆破事件を起こし、日本でも国際平和のために軍隊の装備を減らそうとした首相を狙撃しました

世界恐慌に直面し、経済が苦しい日本ではこれまで通り世界の国々と平和を保ちながら政治をしようとする政党政治派に対して他国を侵略して経済の危機から脱出しようとする軍部中心派が反発し、日本の進路をめぐる対立しました